

日本最大の医療・福祉グループ

○ 事業の内容

| 済生会の施設・事業数と延べ利用者数

済生会は、全国で99の病院をはじめとする398施設、440事業を運営し、6万3,000人の職員が日々活動が続けています。

済生

第4代総裁
高松宮宣仁親王妃喜久子殿下による御書



済生会の紹介

会を挙げての活動

ソーシャルインクルージョンの取組み



社会的環境の変化に潜む大きな課題
すべての人が手に手を取り合って生きていく
未来を創造することが、私たちの願いです。

災害援助活動（DMAT・DCAT）



済生会のDCAT（災害派遣福祉チーム）
DCATは東日本大震災を教訓に、済生会が独自に
組織化したもので、全国約100の特養・老健・障害
者施設の職員で編成されています。

2010～2019年

2013年 事業拠点を築港地区に移転



○医療・福祉関連サービス業務地区

圏域における広域的な医療や高齢社会に対応した福祉等の公共的な生活サービス機能を中心に、周辺施設と連携した居住・業務系機能が複合する土地利用を図る。

2013年～第1次事業 小樽病院移転新築等



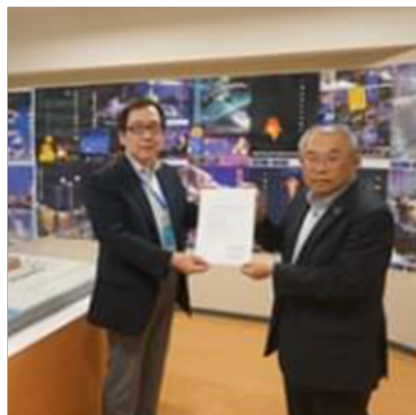
2019年～第2次事業 みどりの里移転新築



2020年7月1日 北海道済生会と株式会社小樽ベイシティ開発(OBC)との間で 「小樽築港地区におけるウェルネスタウン構築に関する協定」を締結



共通ロゴマーク



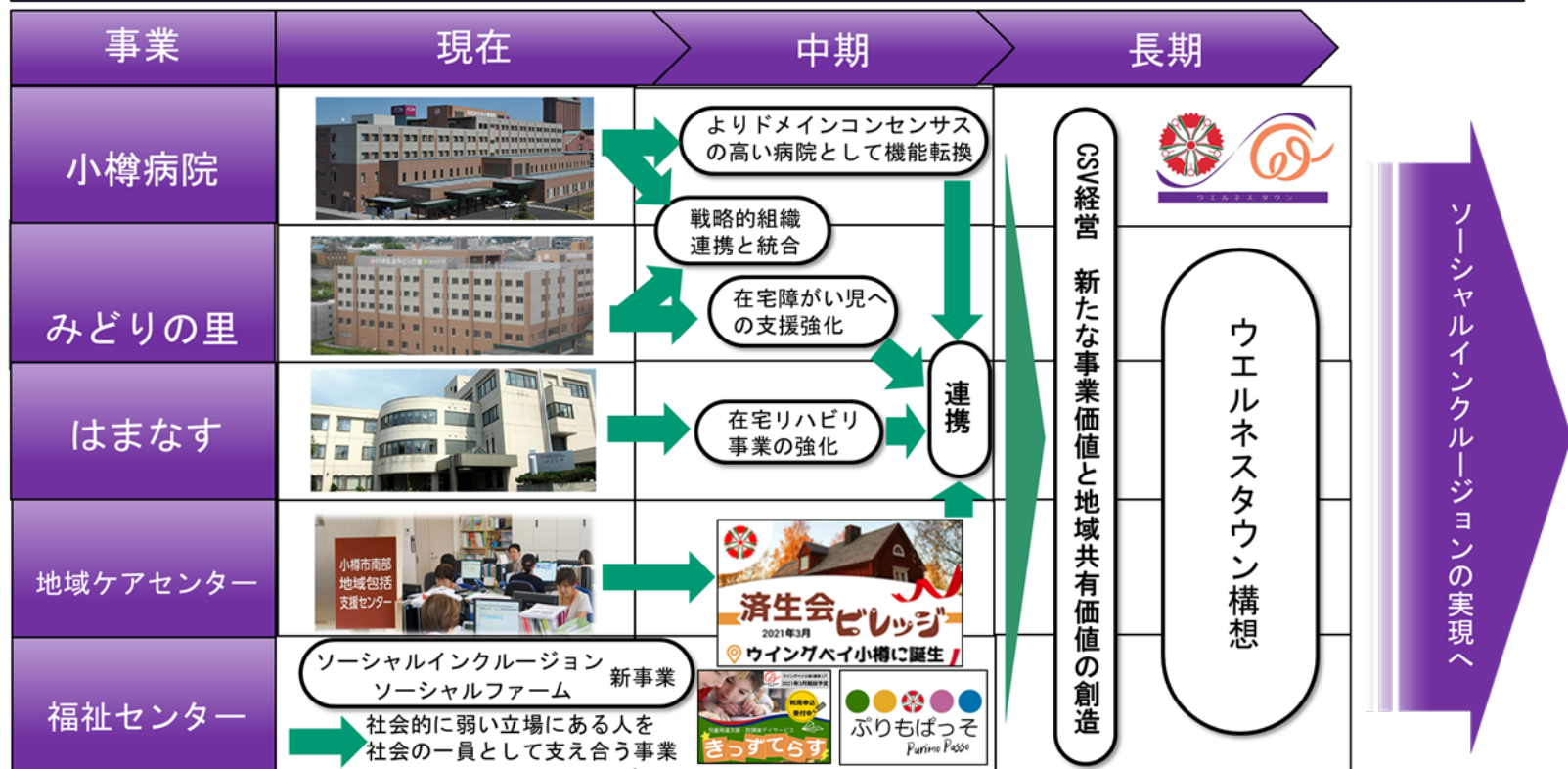
戦略的なまちづくり推進によるSDGs への貢献



北海道済生会第2期基本構想図

第1期構想～事業地移転とCSR（社会的責任を果たす活動）経営 から 第2期構想～CSV（価値創造の実践）経営へ

北海道済生会におけるソーシャルインクルージョンの推進とウェルネスタウン計画



ウイングベイ小樽との連携で生み出す新たな価値

